



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社バルクホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 2467 URL http://www.vlholdings.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)村松 澄夫  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)池田 眞 (TEL)03(5649)2500  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	681	△11.9	△44	—	△37	—	△45	—
23年3月期第3四半期	773	23.5	△100	—	△84	—	△98	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △43百万円(—%) 23年3月期第3四半期 △97百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△1,045 35	—
23年3月期第3四半期	△2,827 88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	374	158	38.2
23年3月期	424	201	44.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 143百万円 23年3月期 200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	0 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,071	1.0	△40	—	△42	—	△48	—	△1,120 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	43,300株	23年3月期	43,300株
24年3月期3Q	—株	23年3月期	—株
24年3月期3Q	43,300株	23年3月期3Q	34,923株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 5
4. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
(6) 重要な後発事象	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から緩やかな回復傾向にあるものの、欧州の債務危機による世界経済の減速懸念や円高の長期化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしております。

当社グループ各社におきましても、震災直後の景気の落ち込みによる受注減からは、復興需要などによる景気の回復基調に合わせるように、日を追うごとに回復傾向にはあるものの、全般的には厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループでは、以前にも増して既存顧客の囲い込みが重要と考え、過去の既存顧客の掘り起こしや現在の顧客へのサービスアップに努めてまいりました。それに加えて新規顧客の開拓に向けて潜在需要の掘り起こしにも注力をしてまいりました。また将来に向けての新規事業の開発にも取り組んでおります。さらに経費の削減にも引き続き努めております。これらのことから、前年同四半期に対して売上高は下回りましたが、営業損失、経常損失、四半期純損失については、大きく改善を致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は681,649千円（前期比11.9%減）、営業損失は44,241千円（前年同期100,003千円の損失）、経常損失は37,372千円（前年同期84,619千円の損失）、四半期純損失は45,264千円（前年同期98,757千円の損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績につきまして（セグメント間の内部取引消去前）は、次のとおりであります。

#### （コンサルティング事業）

情報セキュリティコンサルティング分野および内部統制コンサルティング分野は、依然として東日本大震災の影響は残るものの、ホームページの改善による受注増により、計画を上回る売上高となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83,995千円（前年同期比14.9%減）、営業利益は8,190千円（前年同期20,121千円）となりました。

#### （マーケティングリサーチ事業）

インターネットリサーチ分野は、景気に左右される要素が大きく、東日本大震災の影響から未だ抜け切れず、既存顧客の囲い込みおよび新規顧客の開拓に注力しておりますが、現在のところ満足できる結果には至っておりません。しかしながら当四半期の後半から、震災からの復興とともに既存顧客からの受注が確実に増えてきました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は148,947千円（前年同期比27.4%減）、営業利益は5,588千円（前年同期28,096千円）となりました。

#### （情報デジタルサービス事業）

データベース構築支援および図書館支援事業は、東日本大震災の影響は少なからずありましたが、大型案件1件の来期への延期以外は計画を上回る結果で推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は326,587千円（前年同期比3.6%減）、営業利益は7,322千円（前年同期23,564千円の損失）となりました。

（I T事業）

I T事業の分野は、安定した既存顧客からの受注比率が大きく、計画通りの売上高で推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は123,201千円（前年同期比6.1%減）、営業利益は4,814千円（前年同期28,422千円の損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて49,405千円減少し、315,654千円となりました。これは、現金及び預金が56,878千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて869千円減少し、58,681千円となりました。これは、敷金・保証金が7,930千円減少したことなどによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7,866千円減少し、137,389千円となりました。これは、買掛金が5,442千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて847千円増加し、78,645千円となりました。これは、退職給付引当金が1,454千円増加したことなどによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて43,255千円減少し、158,300千円となりました。これは、利益剰余金が45,264千円減少したことなどによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点においては平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当第3四半期の業績（セグメント間の内部取引消去後）につきましては、下記のとおりであります。

	当第3四半期 (実績) (千円)	当第3四半期 (予想) (千円)	増減	
			比較増減 (千円)	増減率 (%)
コンサルティング事業	83,495	79,654	3,841	4.8
マーケティングリサーチ事業	148,497	206,900	△58,402	△28.2
情報デジタルサービス事業	326,587	373,512	△46,924	△12.6
I T事業	123,051	126,941	△3,889	△3.1
売上高	681,633	787,007	△105,374	△13.4
営業利益	△44,241	△47,028	2,787	—
経常利益	△37,372	△48,103	10,731	—
四半期純利益	△45,264	△53,077	7,813	—

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において109,701千円の営業損失および135,468千円のマイナスの営業活動によるキャッシュ・フローを計上し、4期連続の営業損失およびマイナスの営業活動によるキャッシュ・フローとなりました。また、当第3四半期連結累計期間におきましても44,241千円の営業損失および70,955千円のマイナスの営業活動によるキャッシュ・フローを計上しており、同時に売掛金残高については前連結年度に比べて増加しておりますが、いまだ、継続企業の前提に疑義を生じさせるような事象が存在しております。

当社グループに係る財務の健全性に悪影響を及ぼしている要因として、コンサルティング事業およびマーケティング事業において経費を上回る販売実績を達成できなかったことなどによるものであります。

当社グループでは、当該営業活動によるキャッシュ・フローの減少を最小限に抑えるべく、以下の施策を実施してまいります。

#### a. 既存事業の強化

コンサルティング事業およびマーケティングリサーチ事業を手掛ける株式会社バルク（連結子会社）においては、ホームページからの問い合わせが拡大しており、受注ロスを無くし確実に受注するように努めてまいります。加えて地道な営業活動による既存顧客の掘り起こしについては、ようやく結果が出始めましたので、今後も積極的に推し進めてまいります。

また新規事業でありますS P I（総合適性検査）対応システムについては、来年度の就職試験を見据えて、全国の4年制大学数百校に案内のパンフレットを送付しております。

データベース構築支援および図書館支援事業を手掛ける日本データベース開発株式会社（連結子会社）につきましては、既存顧客へのサービスアップに努めるとともに、受注の拡大を推し進めてまいります。

I T事業を手掛ける株式会社ヴィオ（連結子会社）につきましては、既存事業の強化はもとより、株式会社バルクとのコラボレーションによるS P Iシステムの推進に努めてまいります。

既存事業および既存顧客からの受注が確実に上向いてきておりますので、より積極的に受注活動を推進してまいります。

#### b. 事業経費の削減

今期においては、当初より、役員の削減、役員報酬の削減をはじめとして、思い切った固定費の圧縮に努めてまいりました。また、受注案件の損益を今まで以上に精査し、利益の改善に努めてまいりました。これにより当社グループとしては、売上高については前年同期を下回っているものの、利益については大きく改善しております。

今後も今まで以上に事業経費の削減に努めてまいります。

これらを踏まえて、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	191,258	134,380
受取手形及び売掛金	116,071	128,226
有価証券	43,033	10,451
商品及び製品	1,225	1,379
仕掛品	4,242	12,205
原材料及び貯蔵品	918	1,245
その他	11,261	30,470
貸倒引当金	△2,951	△2,705
流動資産合計	365,059	315,654
固定資産		
有形固定資産	3,434	5,896
無形固定資産		
のれん	3,141	2,564
ソフトウェア	7,608	12,311
その他	1,147	1,147
無形固定資産合計	11,897	16,023
投資その他の資産		
敷金及び保証金	32,821	24,890
その他	25,929	26,403
貸倒引当金	△14,531	△14,531
投資その他の資産合計	44,218	36,761
固定資産合計	59,550	58,681
資産合計	424,610	374,336
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,237	10,795
1年内返済予定の長期借入金	6,840	8,040
未払費用	37,026	41,240
未払法人税等	3,471	3,896
賞与引当金	13,424	1,304
ポイント引当金	34,386	30,914
その他	33,871	41,199
流動負債合計	145,256	137,389
固定負債		
長期借入金	55,120	55,910
退職給付引当金	20,277	21,732
その他	2,400	1,003
固定負債合計	77,797	78,645
負債合計	223,054	216,035
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	573,951	573,951
資本剰余金	459,310	459,310
利益剰余金	△844,926	△890,190
株主資本合計	188,334	143,070
少数株主持分	13,221	15,230
純資産合計	201,556	158,300
負債純資産合計	424,610	374,336

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
売上高	773,906	681,649
売上原価	559,792	477,941
売上総利益	214,113	203,707
販売費及び一般管理費	314,117	247,948
営業損失（△）	△100,003	△44,241
営業外収益		
受取利息	216	117
助成金収入	14,630	—
賞与引当金戻入額	—	4,681
その他	4,316	3,021
営業外収益合計	19,163	7,820
営業外費用		
支払利息	745	915
株式交付費	2,975	—
その他	58	35
営業外費用合計	3,778	951
経常損失（△）	△84,619	△37,372
特別損失		
リース解約損	1,549	—
本社移転費用	2,968	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,040	—
固定資産除却損	—	266
損害賠償金	—	1,000
その他	1,809	—
特別損失合計	9,368	1,266
税金等調整前四半期純損失（△）	△93,987	△38,639
法人税、住民税及び事業税	2,456	4,513
法人税等調整額	1,038	102
法人税等合計	3,495	4,616
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△97,482	△43,255
少数株主利益	1,275	2,008
四半期純損失（△）	△98,757	△45,264

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,482	△43,255
四半期包括利益	△97,482	△43,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,757	△45,264
少数株主に係る四半期包括利益	1,275	2,008

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△93,987	△38,639
減価償却費	2,991	4,517
のれん償却額	905	577
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,633	—
持分法による投資損益（△は益）	25	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△600	△246
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△1,596	△3,472
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,565	1,454
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,383	△12,120
受取利息及び受取配当金	△216	△143
為替差損益（△は益）	58	33
支払利息	745	915
売上債権の増減額（△は増加）	△9,380	△12,154
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,865	△8,444
未収入金の増減額（△は増加）	△4,927	45
長期未収入金の増減額	△1,417	—
未収消費税等の増減額（△は増加）	△2,268	—
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,988	△5,442
未払消費税等の増減額（△は減少）	△7,211	△4,462
未払費用の増減額（△は減少）	△6,682	3,046
その他	△8,816	8,489
<b>小計</b>	<b>△138,417</b>	<b>△66,045</b>
利息及び配当金の受取額	23	110
利息の支払額	△611	△915
法人税等の支払額	△1,576	△4,103
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△140,581</b>	<b>△70,955</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	—	△15,000
貸付金の回収による収入	—	900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	12,596	—
有形固定資産の取得による支出	△2,376	△3,967
無形固定資産の取得による支出	△300	△7,134
敷金及び保証金の回収による収入	28,232	9,610
敷金及び保証金の差入による支出	△1,310	△800
その他	△1,313	△4,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>35,529</b>	<b>△20,495</b>

(株)バルクホールディングス (2467) 平成24年3月期第3四半期決算短信

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	14,000
長期借入金の返済による支出	△3,210	△12,010
株式の発行による収入	59,500	—
少数株主からの払込みによる収入	1,050	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,340	1,990
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△47,711	△89,460
現金及び現金同等物の期首残高	254,428	234,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	206,716	144,832

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。